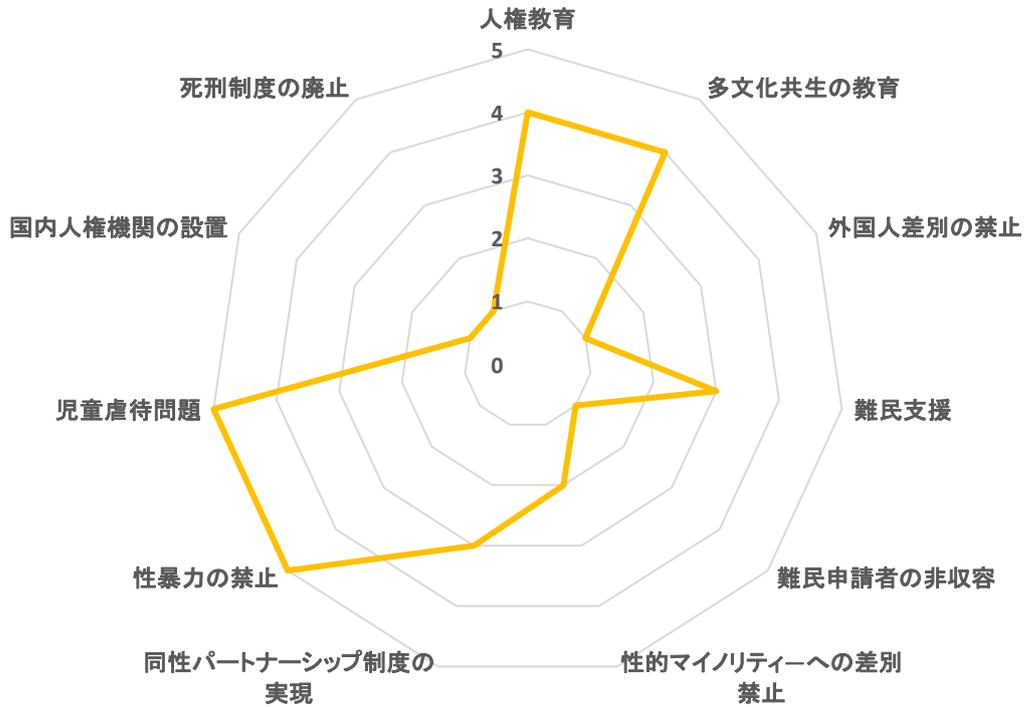


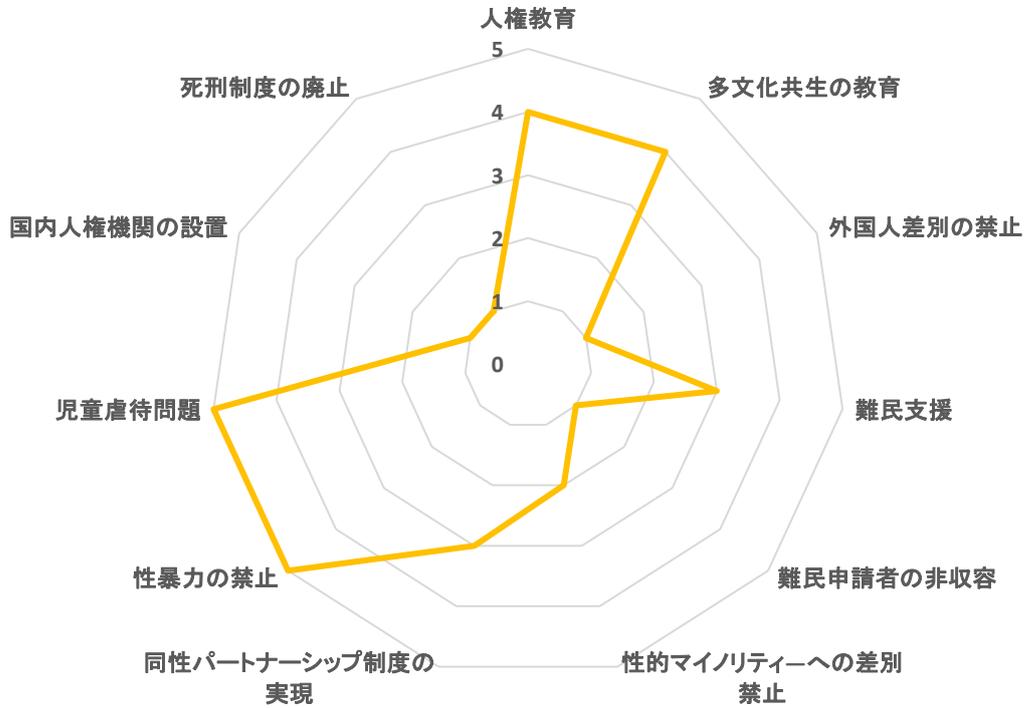
岩本 剛人(自民)



特に取り組みたい人権課題

インターネット上の誹謗中傷への対策に力を入れていきたい。

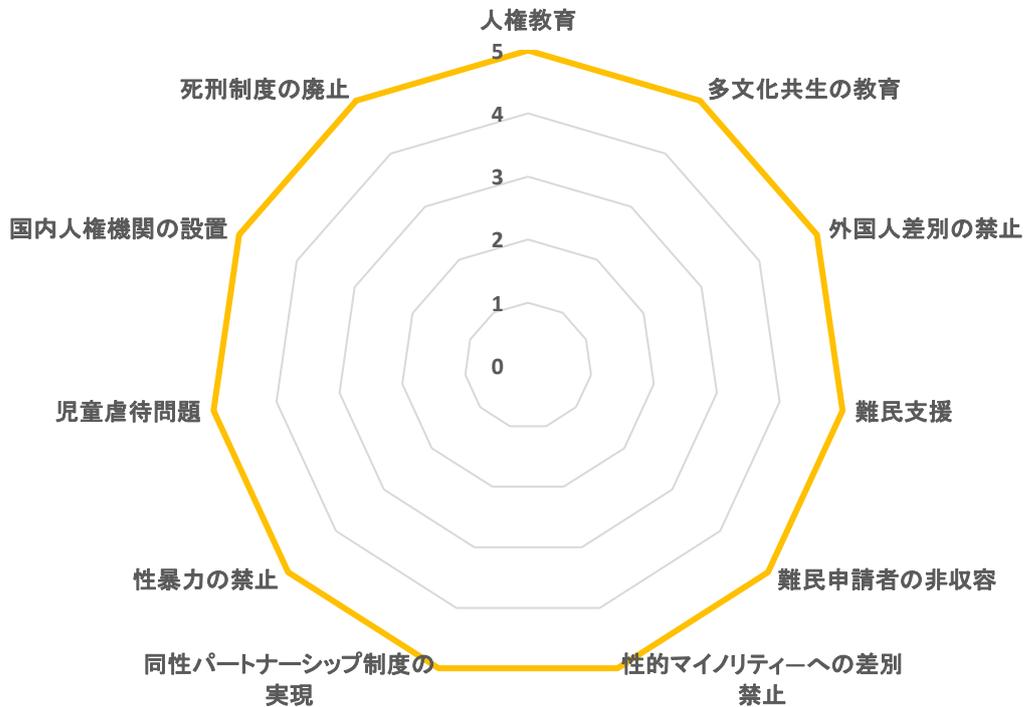
高橋 はるみ(自民)



特に取り組みたい人権課題

SNSやインターネット上での誹謗中傷対策に取り組みたい。

勝部 賢志(立憲)



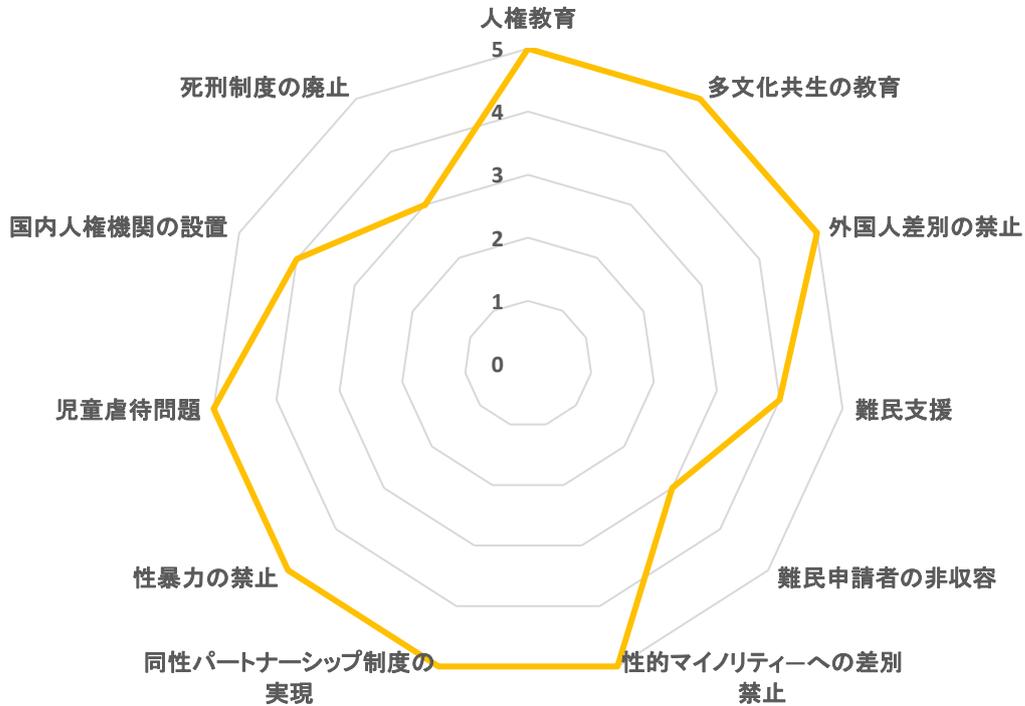
特に取り組みたい人権課題

小学校教員時代の教え子たちが、経済的理由、家庭環境、障がいによって「学び」の選択肢を狭められている現状を目の当たりにしてきた経験から「子ども」「若者」の人権を守りたい。

子供の権利を保障する社会・教育の実現に向け「子どもの権利条約」「女性差別撤廃条約」「国連障害者権利条約」を学習の中に取り入れる。

虐待やいじめから子どもたちを守り、健全な成長をつなげるためにも社会的養育体制の確立とともに人権教育が重要と考える。

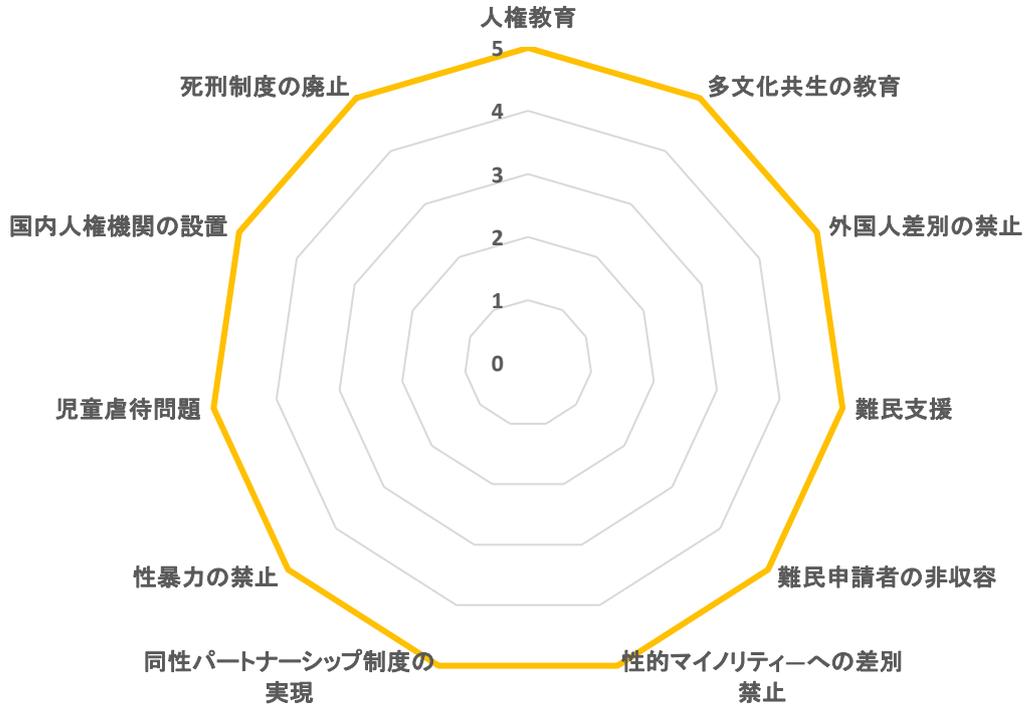
原谷 那美(国民)



特に取り組みたい人権課題

アイヌ民族の人権を尊重し、権利を確立する総合的な施策の推進に取り組めます。人種、民族、宗教、肌の色、性別年齢、疾病、障がい、性的指向／性自認などで差別されない社会の実現に取り組めます。

畠山 和也(共産)



特に取り組みたい人権課題

広い大地にふさわしく、のびのびと自分らしく生きられる差別のない北海道にしたいと願っています。

第一は、パワハラ、セクハラ、若者の使い捨て等、まともに働けるようにします。

第2は、アイヌ民族を同化させた歴史についての教育や啓発をおこない、当時者の声を反映させながら「先住権」の回復を保障するようとりくみます。

第3は、ジェンダー平等社会を実現し、性暴力やハラスメントを許さず、人種や民族にする差別やヘイトスピーチをなくします。